



令和4年度 幸手市子ども議会

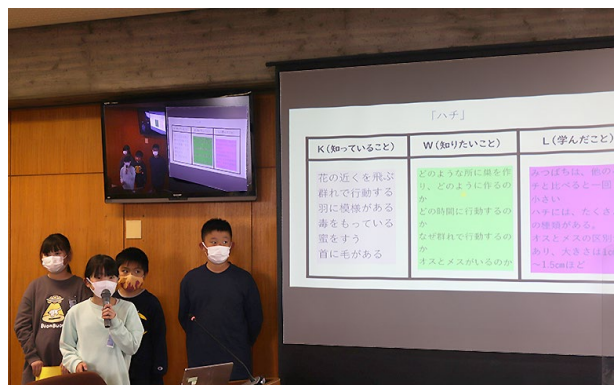
1月25日(水)、幸手市役所議場で、令和4年度幸手市子ども議会が開催されました。

子ども議会は、将来の幸手を担う子どもたちが、行政や議会の仕組みを学び政治を身近に感じるとともに、市政への関心を高め、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることを目的とし、開催しています。

今回の子ども議会は『未来へのメッセージ〜私が思う『笑顔で暮らせるまち・さつて』をテーマに、市内各小中学校から一般質問として、さまざまな分野にわたる質問が集まりました。

そして、当日各学校から12人の子ども議員が集まり、市に対する一般質問を行いました。

開催前には、ICT教育の一環として、幸手小学校4年生の児童によるプレゼンテーションが行われました。



授業内で疑問に感じ、調べたことをパワーポイントを使用し、分かりやすく、堂々と発表していました。

子ども議会では、学校を4校ずつの3グループに分け、そのグループごとに中学生議員が議長となり、議会の進行を行いました。

子ども議員のみなさんは、「安全な自転車通行および歩行者通行」、「幸手市のICT環境の整備の方向性」など、自分たちの学校生活に関わりのある分野や、「幸手市の土地活用・エネルギー問題対策」、「ジェンダー平等」など今

後の幸手市を考える分野など、さまざまな角度から質問をしていました。

質問方法も、発言による質問だけでなく、画用紙にオリジナルの道路標識を描き提案したり、現状を撮影し、その写真をスクリーンに投影したりなど提案方法に工夫を凝らし、説得力のある質問となっていました。

議会後の懇談会では、「今まで縁遠く感じていた市議会に関心を持つことができた」「とてもいい経験ができた。中学生がかっこよかったので、議長をやってみたい」など、積極的な意見や感想を述べていました。

子ども議員のみなさんはこの議会を通じて、行政や議会の仕組みを学ぶとともに、自分たちが生活する幸手市をより良くしたいという意識が高まったようでした。

一般質問の詳しい内容・回答はこちらからご覧いただけます。



問合せ 秘書課 ☎(43) 1111

内線 222

